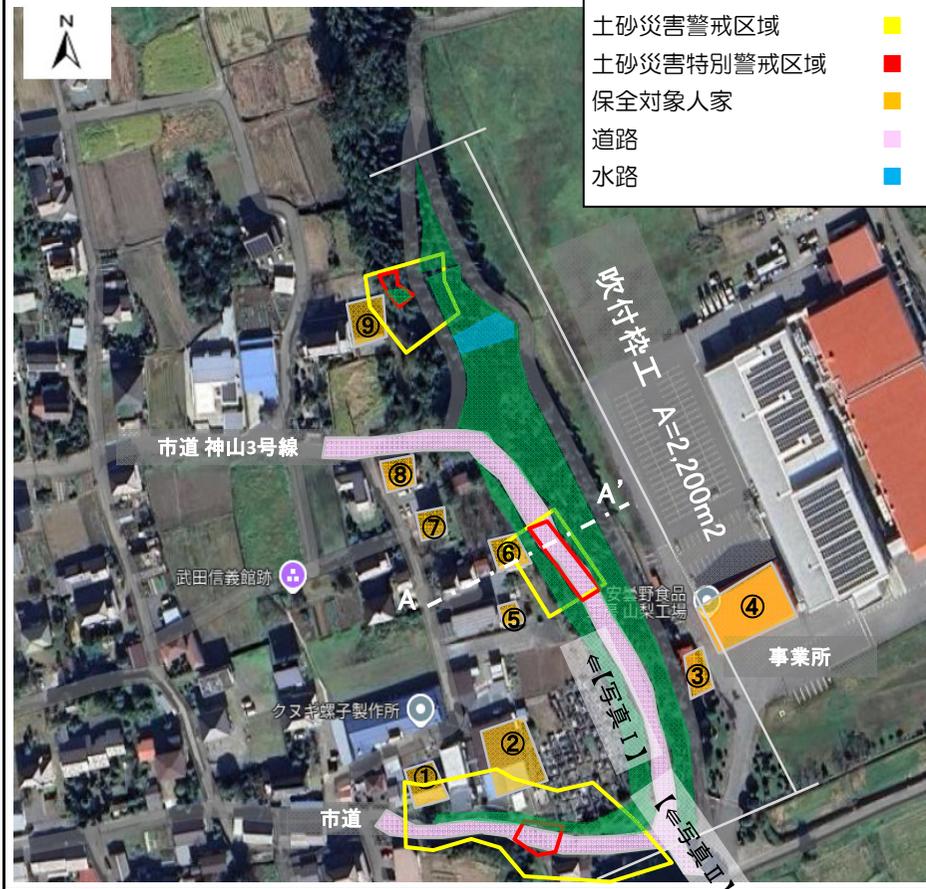


1. 事業説明シート

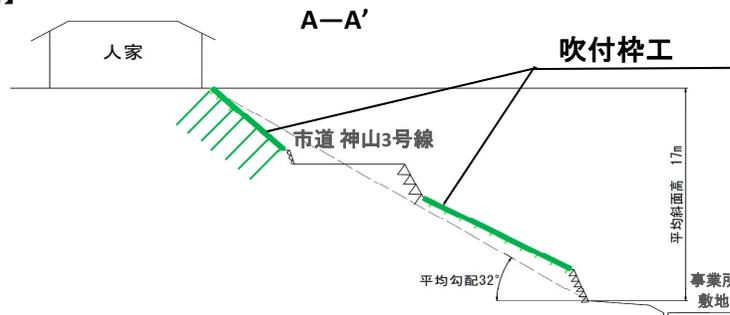
<p>事業名</p>	<p>急傾斜地崩壊対策事業 〔県単独急傾斜地崩壊対策事業 (県単) 〕</p>	<p>事業箇所</p>	<p>韮崎市神山町武田</p>	<p>地区名</p>	<p>武田(タケダ)</p>	<p>事業主体</p>	<p>山梨県</p>																																							
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 武田地区は、山梨県韮崎市神山町武田に位置する急傾斜地であり、令和7年3月24日に土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定されている。 当該斜面は、平均斜面高17m、平均勾配32度の急傾斜地で、保全対象は人家9戸であることから、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全人家戸数：9戸> 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：無 (保全対象：人家9戸、市道 神山3号線L=70m、市道L=30m)</p> <p>□副次目標 - □副次効果 -</p> <p style="text-align: right;">※評価基準値</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価 妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当。</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <table border="1" data-bbox="1108 446 1982 662"> <tr> <td>総事業費</td> <td>300 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7~R9</td> <td>基準年</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>275 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">1983 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>274 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">219 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>1 百万円</td> <td>公共土木施設等被害抑止</td> <td colspan="2">37 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">70 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">1657 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">7.2</td> </tr> </table> <p>※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p>				総事業費	300 百万円	工期	R7~R9	基準年	R7	経済効率性	費用	275 百万円	便益	1983 百万円		建設費	274 百万円	一般資産被害抑止	219 百万円		維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	37 百万円				人身被害抑止	70 百万円					その他※	1657 百万円		B/C			7.2		
総事業費	300 百万円	工期	R7~R9	基準年	R7																																									
経済効率性	費用	275 百万円	便益	1983 百万円																																										
	建設費	274 百万円	一般資産被害抑止	219 百万円																																										
	維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	37 百万円																																										
			人身被害抑止	70 百万円																																										
			その他※	1657 百万円																																										
B/C			7.2																																											
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 吹付砕工 A=2,200㎡</p> <p>②着手年度 令和7年度 ③完成見込年度 令和9年度</p> <p>④総事業費 約300百万円 (県費270百万円(9.0/10)、その他30 (1.0/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1" data-bbox="246 1037 1064 1197"> <tr> <td>令和7年度</td> <td>地質調査、詳細設計 用地測量、用地取得 吹付砕工</td> <td>120 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8~9年度</td> <td>吹付砕工</td> <td>180 百万円</td> </tr> </table>				令和7年度	地質調査、詳細設計 用地測量、用地取得 吹付砕工	120 百万円	令和8~9年度	吹付砕工	180 百万円	<p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地形・地質状況から最も効果的かつ経済的な工法とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 環境負荷の少ない工法を採用する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地元要望に基づいており、韮崎市から受益者負担金の同意は得られている。</p> <p style="text-align: center;">総合評価 [貢献度ランク：b]</p>																																				
令和7年度	地質調査、詳細設計 用地測量、用地取得 吹付砕工	120 百万円																																												
令和8~9年度	吹付砕工	180 百万円																																												
<p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 未整備</p>				<p>(4) 事業位置図等</p> 																																										

2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】



【写真Ⅰ】



【写真Ⅱ】

